

第21号

発行 丸橋歯科「良い歯の会」
 発行所 高崎市連雀町91
 TEL 027-323-9524
 FAX 027-322-3176
<http://www.maruhashi.com/>

い
 医・農・智
 の
 ち

丘から望む その街は
 播磨の中央から
 外側 頂上へと
 繁殖する何ものかに
 被い尽くされようとしていた。
 それは
 膨れあがった人間の欲望。
 緑を食い尽くし
 心を蝕み
 とどまることを 知らない
 かつて 穏やかだった昔は
 中央部から デッド・センター
 ができ 滅びゆくだろう。
 あつけない 壊れゆく いのち

丸橋歯科の医療水準を 築いた力とは何か

丸橋 賢

現在到達している丸橋歯科の治療力のレベルに、私自身満足しているわけではない。私たちの全人医療を推進する根拠となつてきた哲学の、内部への浸透度、優秀な人材の蓄積、技術の完成度や設備などの全ての面について、まだ上を見つめていた。しかし、総合的な治療能力の高さにおいて日本の一般的な歯科の現状より遙か上方に突出してしまつていくことは間違いないだろう。歯内療法、歯周病治療、咬合治療、矯正、インプラント、補綴、全人的健康教育などの総合力を駆使して難症例を治す力では、世界でもトップと考へてよいと思う。

最近私は、丸橋歯科がこの水準に到達した、理由とは何かについて、内部の人たちにも、医療の利用者である患者さんにも、知つておいてもらいたいと思つてきた。大切な院内の人材には、その「理由」をより深く理解した上で、より高く発展する根源的な力にして欲しいし、利用者の方々にも、ただ上手だから発展したというふうな誤った理解をして欲しくないと感じてきた。ただ上手なだけでこの水準を達成できるほど、現実には甘くない。数々の抵抗や困難を突破する力がなければ現実の世界で素晴らしいものを表現することは不可能だ。優れた人材を集め、その力を開発し、伸ばしてゆく才能も必要だ。しかし、私が最も、知つておいてもらいたい、理由とは、丸橋歯科の医療の動機そのものである。私は、医療という活動を通じて何かを表現し、主張したいと思つてきた。文学から歯科医療に転向した形になった私にとって、ただ上手な歯科医になつて、世俗的に成功した歯科医になつていかうことは、あまり関心の対象ではない。もっと大事な真実を示したい、それが動機であり、「理由」なのである。

透視する感性などが必要であり、まさに体を張つた突っ張りが続かないと美しい治療はできない。一切の妥協を排し、その治療の完全を追求する性格とは、完全に正論を通そうとする反通俗の性格そのものと一つである。この性格は不良治療や保険点数の水増し請求が横行するのを見ると、あまりの醜さに我慢ならず、また本音のことを言わせてしまふ。不正請求に触れることはタブーにされることらしく、私は歯科医師会をはじめ関係者からそれはひどい攻撃を受け続けた。その対立の拳句、私は歯科医師会を除名されたのである。

学術や臨床でも、私の視点から角がたつたことが多かった。例えば歯周病の原因論や診断、治療方法に於いても私の意見は不可解な抵抗を受けてきた。自然の恵みそのままの食生活をしている民族や、健全な食生活をしている人、食事戒律のある宗教関係者などを調査すると、ブラッシングは良くないのに歯周病はほとんど見られない。その人たちの肌や爪の色も美しく輝いている。反面、現代食の人びとに歯周病は多く、この人たちの肌は土気色で艶がなく、爪の色も悪い。現代歯周病学が教えるブラッシングや手術などを行つても治らない。これを見て私は素直に歯周病の原因は食生活の歪みを中心とした生活由来性疾患で、それを改善しないまま手術など、現代歯科医学の方法を施しても治らないという学説を説いた。私は文学的直観で人を見抜く習慣があ

通俗を嫌う

詩を読んでわからない人に詩を解説することは愚かだ。感性で受けとめられない人に解説しても詩は理解できない。同様に一瞬患者を見て見抜けない歯科医に説教をしても無意味である。全体像と本質を瞬に見抜く視点が文学の立場であるとするれば、本質が見えず、或いは少し見ることがあつても利益や保身を優先した判断をする立場が通俗である。通俗に生きる人間が俗衆であり、私は大衆という分類は実際には存在せず、俗衆という定義で理解するのが適当であると思つている。人類のほとんどは俗衆であり、先覚者や真実を告げる人ではない。それは現実であるから受け止めるより仕方ない。しかし、俗衆が世の中を良くすることは絶対にあり得ない。彼らは自分たちが環境を汚し、その結果自分たちに危機が迫つてきたとしても気付くことはない。が、本心に危機が訪れた時は長けた処世術で他者を踏んでも生き抜こうとする。より問題なのは俗衆は先覚者に石を投げ、圧迫を加えることである。従つて、いつの世の中でも先覚者は生きにくく、苦痛をなめることになる。

金子光晴のおつとせいという詩がその全てを十分に表している。

そのいきの臭いこと、
 くらからむんと蒸れる。
 そのせながめれて、はか穴の
 ぶちのやうにぬらぬらして
 いる。
 虚無をおほえるほどいやらしい
 おお、憂愁よ。
 そのからだの土囊のやつた
 つづぐろいおもき。かつたるぎ
 いん気な弾力
 かなしいゴム
 (中略)
 鼻先があそくなるほどなまぐさ
 い、やつらの群集におされつ
 つ、いつとも
 おいらは、反対の方角をおもつ
 てみた。
 (中略)

それら、俗衆といふやつら。
 ただひとり、
 反対をむいてすましてゐるやつ。
 おいら。
 おつとせいのきらひなおつとせ
 い。
 だが、やつぱりおつとせいはお
 つとせいで
 ただ
 「むかうむきになつてる
 おつとせい」
 (金子光晴詩集 白鳳社)

優れた若い
 歯科医に恵まれて
 こうあるべしと思つた歯科医療に
 妥協を排して向かうことにも、実
 に多くの犠牲が伴つた。あちこち
 に角が立ち、歯科医師会との戦い
 では家族にまで圧力がかけられ
 た。厳しく研修も積まなくてはな
 らず、家族に十分なこともしてや
 れなかつた。スタッフの技術レベ
 ルには特に厳しさを要し、ついて
 こないで反目する者もいた。し

ただひとり、
 反対をむいてすましてゐるやつ。
 おいら。
 おつとせいのきらひなおつとせ
 い。
 だが、やつぱりおつとせいはお
 つとせいで
 ただ
 「むかうむきになつてる
 おつとせい」
 (金子光晴詩集 白鳳社)

歯科とは異質な 視点から

丸橋歯科の治療能力を総合力に
 おいて屹立たせている原動力は、第
 一に揺るぎない哲学を持つている
 こと、第二にはそれに基づいた
 行動に妥協を排した姿勢があるこ
 とである。第三に加えるならば、
 人の全体像と本質を一眼に見抜く
 習慣が、若い頃の文学活動によつ
 て磨かれてきたことがあると思
 う。これらの特性は全て歯科的体
 質には馴染むものではなかつた。
 もともと哲学とは大衆や通俗なる
 ものとは常に一定の対立や緊張関
 係を保つ性質があり、現実の利益
 を求めて保身や妥協を重ねる現実
 社会とじっくり折り合うことが不
 得意である。本音のことを明確に
 語ると、私も歯科界で角が立つこ
 とが多かつた。初診の患者さんを見
 ていると、とても我慢ならなく



なる。根管治療はほとんど手抜き
 で中から汚く腐り、詰めたり被せ
 たりしてあるインレーやクラウン
 も全く適合してないものばかり
 である。美意識が無いのだから、
 プロ意識も良心も痛むことはい
 ないのであるか。あまりのひどい
 つい「ひどい」と発言する、こ
 れがあらゆる手を使った嫌がらせ
 を招く。

確かに一般の人が考えるほど歯
 科治療は簡単ではない。根管治療
 一つ例にとつても、極度の緊張力
 や注意力、根気、見えないものを

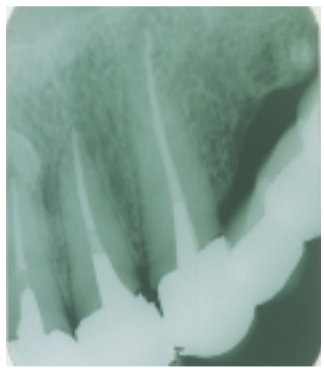


写真 1974年。開業して1人目の患者さんに私が行った根管治療。最初から今まで一貫して妥協のない完全な治療を続けている

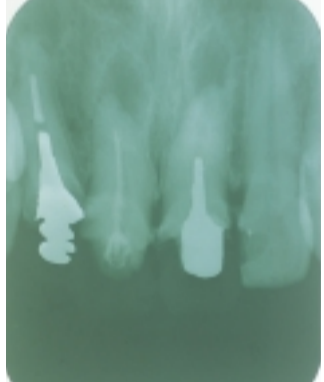


写真 一般的に見られる根管治療は100%近くこんなレベル。毎日見ていて気分が悪くなる

丸橋 賢の著作 本 農文協刊 5点15万部発行

<p>歯槽膿漏 ほんとうは治る防げる 27刷 1,260円</p>	<p>新しい歯周病の治し方 末期的歯周病も全身を 治す視点で治療。 患者さんの声多載。 15刷 1,470円</p>
<p>歯の良い治療の見分け方 13刷 1,530円</p>	<p>顎偏位症の治療と予防 よくわかる 頭痛・肩こり・腰痛な どは、咬み合わせ治療 で解決。 2刷 1,300円</p>

インプラントで安心
 年間2000本の実績からどんな難症例でも、威力を発揮するインプラント

丸橋歯科インプラント治療班、青木博之、辻本仁志、亀井琢正 共著
 2刷 1,600円

最高気温四十度「暑い」の一言から旅は始まりました。シルクロード... 日本と違って梅雨のない六月に私はこの地を訪れました。西安空港へ降り、その後再び飛行機で奥地のウルムチ・トルファンへ。市街地は高いビルが立ち並び、車も多く都会を思わせる活気のある所でした。が、規模は小



トルファンの火焰山。西遊記で有名

シルクロードを旅して

さく、少し郊外へ出ると舗装されていない道路の両脇に民家があり、大人達は家の前で座りこみゲームのようなものをしていました。日中の猛暑から、木陰に昼寝をする為のベッドが置かれているといった珍しい光景も目にしました。

黒岩 恵子

今回、二つの城跡を見学しました。一つは、高昌古城で、三蔵法師が訪れ、仏教の講義をした所で、草木一つ生えていない所でした。口八車に乗って移動する観光客を緑や赤の民族衣装を着た子供達が自転車で追いかけてきて、私達に土産物や果物を売ります。親達がお金を出して子供達に買ってもらって、小学生くらいの子供が一生懸命働いていました。もう一つの交

海外取材報告

底した破壊、観光資源としてのわずかな修復と再建、むしろ破壊されたものの中に独特の美しさがある。アユタヤ王朝は416年間、33代続いた。全盛期の17世紀にはその勢力範囲は現在のラオス、カンボジア、ビルマ、マレーシアの一部まで達した。その人口20万人は当時のロンドン、パリに迫る程度であったという。しかし現在のアユタヤは、タイの一観光地。民族

タイ二つの街

一般歯科・咬合治療担当医 竹林 英彦

衣装をまとったタイ人が、日本人観光客を象の背にのせ静かにゆっくり歩いている街だった。バンコク。ヒトの生命力が爆発する街。ホテルの18階から見るバンコクは一流の大都会だ。高層ビルが立ち並び、大型モーターサイクルが走る。だがホテルを出て、一歩路地に入ると、露店が立ち並び、押す押すの



バンコク、マーケットにて

タイ式ラーメン、シンハービール、安ウイスキーのメコン。トゥクトゥクに乗ってホテルへ戻る。帰ってから爆音と人々のざわめきが耳からはなれない。人口600万を擁するバンコク、現チャクラー朝は9代230年。しかし今廃虚となったあのアユタヤの歴史の未だ半分を少し経過したにすぎない。

環境の変化であっけなく壊れる健康

丸橋歯科学会発表・論文

日本ホリスティック医学協会 生活習慣病予防指導士 渡辺 浅乃
九月初旬、二度目のモンゴル行き機会を得た。去年も訪れた南ゴビの地は、この夏、一回も雨が降らず厳しい夏だった。夏の少雨は冬の寒冷を増大させるという点で、今年も家畜の大量死が予想される。その結果、遊牧で暮らさなくなった人々がウランバートルに集中して行く。現在人口の三分の一の九十九万人が暮らしているが、この現象は更に進んでゆくだろう。現に丘から見た街は、去年と比べると郊外や山の中腹まで住宅が増え、頂上まで席巻するのは時間の問題のようだ。

今回の健康調査の印象は、日本人と比べると総じて歯並びは良く、姿勢や咬合力、視力なども素晴らしいものだった。しかし、下顎の第一大臼歯を中心に歯を失っている人が多いのが気にかかった。去年の調査で、ウランバートルの子どものムシバの多さから考えると、この子どもたちが成人時には今調査した人たちよりもっと悪い状態が予想される。

探しても一度と会うことはできないと思っていた。去年の調査で協力してくれた遊牧民一家のお母さんに再会した。彼女は空港の土産店で働いていたのだ。時代の波を垣間見る出来事だった。

丸橋歯科学会発表・論文

- 〔学会発表〕
日本口腔インプラント学会 第21回関東甲信越支部総会
「インプラント辺縁骨の初期吸収に対するインプラントの形状および骨密度の関係」
辻本仁志ほか四名
平成14年2月10日
- 日本インプラント臨床研究会 症例発表 辻本仁志
平成14年3月24日
- 日本顎咬合学会第20回学術大会
「生活環境が咬合に与える影響」
(日本人とモンゴル人の比較)
竹林英彦ほか一名
平成14年4月14日
- 第32回日本口腔インプラント学術大会
「垂直的骨量の少ない例へのソケットリフトによる対応」サイナスリフトの適応基準の考察」
辻本仁志ほか四名
平成14年9月22日

お便り紹介

長い間、治療でお世話になり、ありがとうございました。皆様ののおかげで元気になりました。三年間通院して本当に良かったと心から感謝しております。

小さい頃から歯周病に悩まされ続け、三十歳をこえてひどくなり、毎日毎日何とかならないかと地元歯科の歯科医を回りました。丸橋先生の本を読んで受診を決意し、丸橋先生から群馬まで遠い道でしたが、細かい治療を患者をいたわりながら、一日中かけて診ていただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。さらに、矯正治療やインプラント治療を受けましたが、先生とスタッフの皆さんの連携が抜群で、少々不安だったインプラントも丸橋先生の腕にかかっただけ、あっという間に終わり、何の心配もありませんでした。

治療が終わった時、先生はとてもしつこく「芸術作品ができましたよ。今後は大事に使って下さい」とおっしゃって喜んで下さいました。先生はじめ皆様に心からお礼申し上げます。(滋賀県・男性)

編集後記

二十二年目に入った「良い歯の会」、秘かに楽しみにしていることがあります。それは、久しぶりに参加して下さる方との再会です。「良い歯の会」参加を契機に、私達と共に闘い、重症な歯科疾患を克服した方々がたくさんいらっしゃいます。健康なお顔に見えること、本当に良かったです。二十二年の積み重ねの味を感じる一瞬です。

今回も、治療で改善した多くの患者さんから貴重な体験をこぼしていただきました。私たちがスタッフにとっては励みとなり、患者さんにとっては不安を解消し、勇気づけられることと思います。光の見えるトンネルの先に、一条の光を見出していただけたら、「良い歯の会」の活動を更に充実したものにしたいと思っています。(渡辺浅乃)

良い歯の会で生き方を発見しよう

廣瀬京子 (埼玉県・会社員・46歳)

きっかけは、1998年夫の歯周病発症でした。「1本も歯を抜かずに」の願いが丸橋先生へとつながり、おかげ様で3年にわたる治療で完治致しました。この間、「良い歯の会」に参加し、今も半年毎の定期検診に合わせて出席しており、今迄9回参加いたしました。初めてお話を伺ったときに、なるほど歯だけの問題ではないと直感。多岐にわたるお話から、回を重ねるたびに理解が深まり「生き方」そのものがすべてを左右していることが理解できました。また、家族1人ひとりが毎日の食材にも関心をもち食事をする大切さを教えて頂きました。わが家では、ご飯を未精白米にするようにしたり、(いり大豆・焼のり・じゃこ・ごま・ドライフルーツなど)を取り出しやすいビンや缶に入れ替えて、1つの籠に入れて食卓へ出しております。小さなことの積み重ねが長い間には大きな変化となることでしょうか。これからも『ほんもの』を手に入れるために、「良い歯の会」に参加させて頂きたいと思っております。皆様も是非ご参加されることをおすすめします。

良い歯の会ご案内

日時 毎月第2土曜日 午後1時30分～5時
場所 丸橋歯科(連雀町診療所)3階研修室
内容 4回の連続参加で1シリーズ
環境と人間の生き方を考える(1月、5月、9月)
ムシバ予防を中心に家族を考える(2月、6月、10月)
歯周病と生活習慣病を克服しよう(3月、7月、11月)
退化病と闘う(4月、8月、12月)
定員 40人(入場無料)に家族、お友達などお誘い合わせて、ご参加下さい。その他、試食会(本物食品と市販食品の食べ比べ)も行っています。食生活改善の動機づけとなります。
http://www.maruhashi.com/
お電話でご予約下さい ☎027-323-9524